

幸せの歌



9月20日北海道ホルスタインナショナルショウの様子

JA宗谷南

2015NEN
10GATUGOU
~SEASON44~

道北共進会



8月22日、道北ホルスタイン共進会が豊富町家畜市場にて開催され、枝幸町より10戸21頭が出品されました。宗谷・留萌管内より集まった160頭から北海道ホルスタインナショナルシヨウの椅子をめぐる熱い戦いが始まりました。そして今年も、念願の全日本ホルスタイン共進会北海道大会が開催されることもあり、皆さんベストな状態で審査に挑みました。

審査員は(株)十勝家畜人工授精所の山口寿典氏が選任され慎重で的確な審査が開始されました。

1部では赤坂一弘さん出品の「ニシキスパークリングチヤールキヤロライン」号が1等1席、2部では高橋慶大さん出品の「ポールスタースパークリングパーク」号が1等1席、1等2席に赤坂一弘さん出品の「マタドーアスパークリングシルキー」号が選ばれ、4部では、1等1席に小椋義則さん出品の「TMFホンマエミールチツプマー-ton」号、1等3席に赤坂一弘さん出品の「ニシキフオーチンモアシド」号、5部では、1等2席に寺前吉幸さん出品の「ハービビューウインドブルックシマー」号、2等1席に内田喜久男さん出品の「ウチフレールランドアットウエンデー」号、そして「ハッピーラインアメイジングエッセ」号が6部の1等1席に輝きました。9部では、小椋義則さん出品の「ウインタープレースAWバレンタインミツシー」号が1等2席、高橋慶大さん出品の「ポールスターアルタメイジングベルウード」号が1等3席、11部では澤田和人さん出品の「JCLルードシヤールツティ」号が1等1席など上位入賞が多く枝幸町乳牛のレベルの高さが評価され、北海道ホルスタインナショナルシヨウに6戸12頭の進出が決まりました。

グランドチャンピオンは豊富町の栗城一貴さん出品の「エッセンスターハムレクサスアポロET」号が選ばれましたが、ジュニアチャンピオンに4部出品の小椋義則さん、ジュニアリザーブチャンピオンに2部出品の高橋慶大さん、インターミディエイトチャンピオンに11部出品の澤田和人さんが輝きました。



左から インターミディエイトチャンピオン(11部1等1席:澤田さん)
ジュニアリザーブチャンピオン (2部1等1席:高橋さん)
ジュニアチャンピオン (4部1等1席:小椋さん)

審査員
山口 寿典氏



道北ホルスタイン共進会出品牛成績

| 部 | 順位 | 出品者 | 名号 | |
|-----|------|-------|--------------------------|----------|
| 1部 | 1等1席 | 赤坂一弘 | ニシキスパークリングチヤールキヤロライン | 全道共進会へ進出 |
| | 2等賞 | 高橋慶大 | ポールスター アイデアールスパークリング | |
| 2部 | 2等賞 | 石山享 | アビゲール グレースフル アクミ-E T | 全道共進会へ進出 |
| | 1等1席 | 高橋慶大 | ポールスター スパークリング パーク | |
| 3部 | 1等2席 | 赤坂一弘 | マトドーア スパークリング シルキー | 全道共進会へ進出 |
| | 2等賞 | 山崎紀幸 | カーネリアン ホープ スパークリング | |
| 4部 | 1等1席 | 小椋義則 | TMF ホンマ エミールチツプ マートン | 全道共進会へ進出 |
| | 1等3席 | 赤坂一弘 | ニシキフオーチン モアシド | |
| 5部 | 1等2席 | 寺前吉幸 | ハービビューウインドブルックシマー | 全道共進会へ進出 |
| | 2等1席 | 内田喜久男 | ウチフレールランドアットウエンデー | |
| 6部 | 1等1席 | 内田喜久男 | ハッピーラインアメイジングエッセ | 全道共進会へ進出 |
| | 3等賞 | 関口真也 | ジエネラル スパークリング アタツシユ | |
| 8部 | 2等賞 | 関口真也 | M.F. アフターショット ストーマテイツク | 全道共進会へ進出 |
| | 1等2席 | 小椋義則 | ウインタープレース AW バレンタイン ミツシー | |
| 10部 | 1等3席 | 高橋慶大 | ポールスター アルタメイジング ハルウード | 全道共進会へ進出 |
| | 2等賞 | 小椋義則 | ホープランド ベツツイ スパラル ホマレ | |
| 11部 | 1等1席 | 澤田和人 | JCL ルードシヤールツティ | 全道共進会へ進出 |
| | 2等1席 | 小椋義則 | オムラドヌーフ アイオーン | |
| 13部 | 2等賞 | 高橋慶大 | ポールスター シーパー ラモン | 全道共進会へ進出 |
| | 2等賞 | 澤田和人 | JCL ハイボルトン パンビ | |
| 15部 | 2等賞 | 赤坂一弘 | マトドーア クリス ゴールドウイン ステラ | 全道共進会へ進出 |
| | 2等賞 | | | |

北海道ホルスタインナショナルショウ 2015



4部1等2席
TMF ホンマ エミール チツプ マートン(小椋義則)



6部1等2席
ハツピ-ライン アメイジング エツセ(内田喜久男)

9月19日～20日、北海道ホルスタインナショナルショウが安平町早来で行われ、全道各地より500頭の乳牛が集まりました。
審査員は、カラム・マッキンベン氏(カナダ・酪農家)が務め審査がスタートしました。
全日本ホルスタイン共進会の出場権が懸かっているせいか、会場は異様な緊張に包まれており、出品者や関係者はもちろん、観客までもが、固唾をのんで審査の行方を見守っていました。
枝幸町からは12頭が出品され4部で小椋義則さん出品の「TMFホンマエミールチツプマートン」号が1等2席、6部で内田喜久男さん出品の「ハツピ-ラインアメイジングエツセ」号も1等2席に選ばれ見事10月24日から開催される全日本ホルスタイン共進会の切符を手に入れました。
また、他の出品牛達も健闘し好成績を収めました。が、グラントチャンプイオンに輝いたのは、豊富町の佐藤道寛氏出品の「レスポアールレーガンスターハーゲン」号が選ばれ、今年の北海道ホルスタインナショナルショウは幕を閉じました。
出品者の皆さん本当にお疲れ様でした。

北海道ホルスタインナショナルショウ出品牛成績

| 部 | 順位 | 出品者 | 名号 | |
|-----|------|-------|---------------------------|----------|
| 1部 | 2等賞 | 赤坂一弘 | ニシキ スパークリング チャーチエル キヤロライン | |
| 2部 | 2等賞 | 高橋慶大 | ポールスター スパークリング バーク | |
| | 2等賞 | 赤坂一弘 | マト-ア スパークリング シルキー | |
| 4部 | 1等2席 | 小椋義則 | TMF ホンマ エミール チツプ マートン | 全国共進会へ進出 |
| | 3等賞 | 赤坂一弘 | ニシキ フォーチュン モア シド | |
| 5部 | 2等賞 | 寺前吉幸 | ハーバービュー ウイントブルック シマー | |
| | 2等賞 | 内田喜久男 | ウチ フレーラント アット ウエンデー | |
| 6部 | 1等2席 | 内田喜久男 | ハツピ-ライン アメイジング エツセ | 全国共進会へ進出 |
| 9部 | 3等賞 | 小椋義則 | ウインターブレス AW バレンタイン ミシー | |
| | 3等賞 | 高橋慶大 | ポールスター アルタメイジング ヘルウッド | |
| 11部 | 3等賞 | 澤田和人 | JC ルデーシド シャーレツティ | |
| 13部 | 3等賞 | 高橋慶大 | ポールスター シーパー ラモン | |



審査員
カラム・マッキンベン氏

宗谷南農協青年部 農村ホームステイ

北海道農協青年部協議会主催の食育活動の一環である「農村ホームステイ」が歌登藤山牧場の青年部盟友祐介さんの基で実施されました。

実習生として歌登小学校の伊藤教頭先生が参加し、酪農家の一日を体験しました。(9月26日昼～27日昼まで)

牛舎・農作業機械の見学・説明から始まり、バキュームによるスラリー散布体験、エサ作り体験、搾乳体験などが行われました。

牛も人と同じで綺麗で清潔な家に住み、おいしいエサがあれば健康になれると語る祐介さんに習い、伊藤先生も徹底して清潔な牛舎管理を実施して頂きました。

途中、歌登小学校に通う祐介さんのお子さんも参加し、先生に掃除や餌寄せを教えながら、作業しておりました。

今回の研修生である伊藤先生は「酪農の大変さを直に体験出来た。学校に戻ったら、この体験を教え子たちにも伝えたい」と仰っておりました。



餌作りの様子
(ミキシング)



トラクター体験



人工授精の様子を見学



搾乳体験中



乳検データをみて乳牛管理の勉強中



教え子と牧草の掃寄作業



農林水産省職員 農村ホームステイ

9月28日～30日まで

農林水産省より阿南拓さん・鴨川まりさんの2名が青年部盟友の基で農村ホームステイを行いました。関口牧場では真也さんが鴨川まりさんの研修を担当し、高橋牧場では慶大さんが阿南拓さんの研修を担当しました。28日の夕方～30日の朝の作業を通して、酪農家の1日を体験して頂きました。

2日目の夜は交流会で、3日目は意見交換会にて酪農家としての、研修生としてお互いの意見を話し合いました。



稚内からの道中
宗谷岬に立寄り



酪農作業体験



左より
関口真也さん・鴨川まりさん・阿南拓さん・高橋慶大さん

意見交換会



意見交換会では、JA宗谷南青年部5名と宗青協の盟友4名が参加し意見交換を行いました。

その中で農林水産省の阿南さんは、「1日を通して酪農家の仕事をしたのは初めてで農水省の職員として酪農家がどのような仕事をして、何を必要としているかを知る為により経験になった。」「ちょっとした仕事もすべて人の手で行われていることを自分の体で体験でき、体力的にも大変だけどホームステイ先では、明るく、楽しく素晴らしい生活だと感じた。」と語っていました。

宗青協では「見せる酪農というテーマで活動を行っており、今回の経験を色々な所へ発信してもらいたい。今後もこの様な交流を続け、将来へつなげていければいいと話していました。

新農業人フェア in 東京



多くの人で賑わう会場内、北海道内のブース

10月3日、東京池袋サンシャインシティ文化会館内で新農業人フェアが開催され、枝幸町農業推進連絡協議会（枝幸町・宗谷農業改良普及センター・農協）および宗谷南酪農ヘルパー組合が出店しました。

東京会場という事もあり全国各地より就農相談や求人など農業関係者205ブースが出店され、およそ1000人の来場客で大いに賑わっていました。

会場では、セミナーやガイドツアーなど農業人フェアを分かり易く楽しんでもらう工夫もされており、農業を目指す人達への後押しをしてくれる内容でした。

当ブースには、8名の方が相談しに来られ、熱意溢れる若者に相談にも力が入りました。

また、新農業人フェアは、各地で行われ、10月24日札幌でも開催される為、札幌会場にも出店し、枝幸町へ就農してくれるきっかけとなれば幸いに思います。



当ブースの相談の様子

枝幸小学校社会科見学



安部場長の話を真剣に聞く子供達

9月9日に、枝幸小学校3年生の社会科見学が、公共育成牧場にて行われました。牧場が初めてという子供達が多く、車から降りた瞬間に「臭い」と嗅ぎなれない牛（牛糞）の香りに戸惑いがあった様子でしたが、安部場長の挨拶の頃にはすっかり慣れた様子でした。

施設の説明では、枝幸の木材を使った哺育牛舎や、育成舎、堆肥舎を紹介。そして地元の酪農家から預かった子牛をお母さん牛にして帰すまでを説明し、その中で子牛から牛乳が生産するまでの酪農家という仕事と、生乳生産の意義深さを説明しました。

また、子供達からは様々な質問が飛び出し、回答に困る場面もありましたが、地域の子供達に、酪農の楽しさや、大変さ、そして大切さを教えてあげることが出来たのではないかと思います。



沢山の質問が出ました

枝幸中学校職場体験



真剣な眼差でデータ打ち込みをする田部諒太さん

9月16日～17日の2日間で、枝幸中学校2年生の職場体験が行われ、JA宗谷南には、須田泰誠さんと田部諒太さんの2名が体験に訪れ、生産資材課と営農課を交互に体験しました。

須田さん、田部さん共に普段関わりの無い職場という事で農協を希望したようです。パソコンは動画鑑賞等でしか使わないため、事務的な作業に、「難しいが楽しかった」と話していました。

また、資材店舗で様々な農業用品を販売している事を初めて知り、驚いた事や、酪農にも少し興味が湧いてきた事など、楽しい職場体験でしたと話しており、今後も、職場体験の受け入れを通して、枝幸町の子供達に酪農の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



伝票整理をおしえてもらう、須田泰誠さん

よくばりフェスタ

10月4日よくばりフェスタ2015が開催され、牛乳消費拡大運動の一環として当組合も参加しました。

今年は、爆弾低気圧の余波で強風が続く予報のため準備が出来ないという事で、予定されていた、秋サケのつかみ取りなどのイベントは中止と出店の縮小などをして開催されました。

当日は風も穏やかで晴れ間もあり、来場客は例年通りとなりました。

青年部、女性部に協力を頂き無事にジャガバターと牛乳の無料配布、乳製品の販売も完売し、乳製品のPRに一役買っていました。



公共育成牧場

一斉退牧

10月8日、公共育成牧場の退牧が行われました。

当日は台風が接近している影響で、雨風が強い中での作業となりましたが、町内若手酪農家や役場・職員の頑張りにより無事250頭が酪農家のもとへ帰されました。

夏季に預託されてからおよそ半年、身体も大きくなり、受胎して元気に自分の牧場へ帰りました。

また、10月14日には、冬季預託の為放牧地から、育成牧場の育成舎へ300頭が移動され、今年の一斉退牧が終了しました。



枝幸町町民植樹祭

10月17日、枝幸町問牧の魚つき森で町民植樹祭が行われ町民およそ50名が参加し、アカエゾマツとハンノキそれぞれ300本を植樹しました。

町民植樹祭は、枝幸町緑化推進委員会が主催で、未来の枝幸町の森林を守っていくと同時に、地球の環境破壊が進む中、山や森林の守る事が農業にとっても大変意義深いことである為今後とも参加していきたいと思えます。



JA宗谷南 管理部の浦谷正憲による見事な植樹

第56回全道JA野球大会



悪天候の中、力投する
竹内浩文支所長

J A 全道野球大会が9月2、3日に開催し、J A 宗谷南野球部も参戦してきました。
初戦は2日に行われ、野幌総合運動公園野球場でJ A ようていとの対戦。試合開始から雨が降る中、竹内浩文支所長が先発。悪天候で制球が定まらず、初回に2点取られ、途中で今回補強選手として参加したJ A 北宗谷の下山さんに投手を交代するも、3回に8点を取られてしまいます。相手チームに主導権を握られますが、こちらにも負けじと応戦。3回裏に3点を返し、反撃の狼煙を上げますが、途中から雨が酷くなりノーゲームに。決着は次の日に持ち越しとなりました。

翌日は天気にも恵まれ快晴。リベンジに燃えるJ A 宗谷南は、昨日と同じく竹内支所長が先発。初回に2点を許すものの、後のイニングは好投し、J A ようていの打線を抑えます。2対0のこう着状態が続く中、5回裏に相手のエラーが重なり待望の1点を返すことに成功。このまま勢いに乗って逆転したいJ A 宗谷南でしたが、6回、7回と相手打線を止められず、敗退してしまいました。
前半から中盤あたりまでいい勝負をしていましたが、悔しい結果となりました。課題も見つかり、来年に繋がる良い試合でした。



～試合結果～

| チーム名 | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 計 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| JA ようてい | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 | 9 |
| JA 宗谷南 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |

編集委員
村田 太
伊藤 直
川口 直
滝川 幸
森川 忠
高本 等
浦谷 正
憲